

【ひまわりに願いをこめて】

6月下旬から7月初旬に蒔くと、あまり茎が太くならず根も深くないので、咲き終わってからの処理が楽です。また、その後菜の花の種を蒔くとするなら、タイミングもちょうどいいと思います。(地域によっては多少の差異はありますが)

ひまわりが可愛そうという心優しい方の気持ちも分かりますが、いまは、願いを込めて行動する時だと当方は思っています。どの程度効果があるかは、国も実験の段階ですが、何もしないよりは確実にいいということだけは言えるでしょう。

【放射性物質の除去に効果があると思われる ひまわりの育て方】

- 1、 種苗を植える前に表土を 3～5センチほど除去して一箇所に集め、穴を掘って埋められれば理想的ですが、そこまでできない場合は、20～30cm を耕して土をやわらかくします。
- 2、 土壌に肥料が足りなさそうな時は「花と野菜の培養土」を混ぜます。
(ホームセンターで売っています)
- 3、 一本に対して 40cm の間隔をあけ、1 cmほどの深さに種を植えます。
- 4、 発芽するまで一週間掛かりますので、その間適度に水やりして下さい。
- 5、 発芽してからの水やりは、土の表面、ひまわりの葉・茎の全体にまんべんなくしていただくと、ハダニ(害虫)の予防にもなります。
- 6、 発芽後、ある程度育つまでは草取りをすると確実です。
- 7、 放射性セシウムを取り込ませるには、チッソ系の肥料をあげると効果があります。
(但し、やりすぎると発育が遅くなります)

*放射性セシウムとカリウムとの性質が似ているため、カリウム系は成長を促しますが、逆に効果を半減させますのであまりやらない方がいいです。

種まきの様子や成長していく過程、花が咲いた姿など、写真・コメントを募集中です。携帯電話やパソコンのメールなどで送って下さい。

ホームページ【福島復興プロジェクトチーム「花に願いを」】又は、ブログ【人生は365歩のマーチ】にてご紹介致します。

【咲いた後の処理】

茎は60センチ以内に切り、根は掘り起こして、よく土を落としてから通常のゴミとして出して下さい。[※ほとんどの自治体ゴミ焼却施設で排ガス高度処理(有害物質を活性炭・消石灰に吸着させ、バグフィルターで除去する処理法)ができるそうで、飛散する心配はないとのことです]

【土壌や作物の放射能濃度を調べたい方はご連絡下さい】

放射性ヨウ素、放射性セシウムの含有量を検査出来ます。(検査機関の正式な報告書が出ます)

只今、大変込み合っています。事前にご連絡下さい。また、検査結果がわかるまで、多少お時間がかかる事をご了承ください。但し1検体で2万円の経費が掛かります。